

1 単元名 Sunshine English Program6 「由紀のイギリス旅行」

2 単元の目標

- 三人称単数現在形の平叙文や疑問文を用いて、第三者に関することについて積極的にコミュニケーションを図ろうとする。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- 三人称単数現在形の平叙文や疑問文を用いて、第三者に関することについて適切に表現することができる。【表現の能力】
- 英文を読んだり、聞いたりして対話の内容を正しく理解することができる。【理解の能力】
- イギリス文化を扱った英文に触れることを通じて、異文化への関心を高める。【言語や文化についての知識・理解】

3 単元の評価規準

観点 領域	観点1 コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	観点2 表現の能力	観点3 理解の能力	観点4 言語や文化についての 知識・理解
聞くこと	・ うなずいたり、相槌をうったりするなど、関心を持って聞こうとしている。		・ 教師の発話や本文の内容で要点を聞き取ることができる。	・ 場面や状況に応じた表現を知っている。
話すこと	・ 間違いを恐れず、自分の言いたいことを分かりやすく伝える工夫をしている。	・ 一般動詞の三人称単数現在形を用いて他者のことについて正しい語句や表現を用いて話すことができる。		・ 場面や状況にふさわしい表現を知っている。
読むこと	・ わからない語句があっても読み進めようとしている。	・ 場面や心情に応じた音読が適切にできる。	・ 大切な部分を読み取ることができる。	・ イギリス文学について理解している。
書くこと	・ 一般動詞を主語によって適切に使い分け、積極的に書こうとしている。	・ 一般動詞の三人称単数現在形を用いて他者のことについて正しく書くことができる。		・ 言語や言語の運用について基本的な知識を身に付けている。

4 指導と評価の計画（全 6 時間）

次	単元	時	主な学習活動／言語材料	評価規準および評価方法
一	Program 6-1	1	○ 他者紹介（友だちや家族） ・ 三人称単数現在形の肯定文	・ 三人称単数現在形を用い、第三者のことに て表現できる。（観察・ワークシート・小テスト）
		2	・ 三人称単数現在形が用いられてい る文章を読み、理解する。	・ 三人称単数現在形の文章を読み、理解するこ とができる。（観察、発表、自己評価）
二	Program 6-2 (本時その 1)	1	○ インフォメーションギャップに よるインタビュービンゴゲーム ・ 三人称単数現在形の疑問文とその 応答	・ does を用いて第三者についてたずねたり、適切 に応答したりすることができる。（観察・ワーク シート）
		2	・ does を用いた会話を登場人物に なった気持ちで読み、その内容を理 解する。	・ does を用いた会話を、様子や気持ちがわかる ように読み、その内容を理解することができる。 (観察、発表、自己評価)
三	Program 6-3	1	○ Who is he/she? クイズ ・ 三人称単数現在形の否定文	・ 三人称単数現在形の否定文の作り方を理解し、 第三者についてのクイズをつくること ができる。（観察・ワークシート）
		2	・ 三人称単数現在形の否定文の文章 を読み、理解する。	・ 三人称単数現在形の否定文の文章を読み、その 内容を理解することができる。 (観察・発表・自己評価)

5 指導上の立場

○ 単元観

本単元では、三人称単数現在形の文のつくり方、does を用いた疑問文や否定文について初めて学習する。1 学期に、主語が一人称、二人称の肯定文や疑問文、否定文についての学習は終えており、生徒たちは、学習内容が定着しつつある。その上で、既習内容との違いに注目させ、より理解を深めていくことができるようにする必要がある。本単元において、三人称の表現の仕方を学習することによって、英語でのコミュニケーションの幅を大きく広げることが期待できる。

また、本単元は、主人公の由紀がイギリスに旅行する場面であり、中学生にとっては憧れであるだろう。教科書 Program6-3 では、アニメやマンガで有名な『名探偵コナン』が「シャーロック・ホームシリーズ」の作者、コナン・ドイルの名に由来することを知って、生徒は親近感を持って学習に取り組めると考えられる。

○ 生徒観

本学級は男子 16 名、女子 16 名、計 32 名が在籍しており、クラス全体としては、毎回の英語の授業に真剣に集中して取り組んでいる。ALT にも、積極的に話しかけたり、質問に答えたりする姿勢がうかがえる。個人としては一生懸命勉学に励んでいるものの、英語が好きで得意という生徒もいれば、あまり好きではなく苦手と感じている生徒も存在する。また、ペア活動やグループ活動においては、男子と女子が別になって活動したり、なかなか活動に参加しようとしないう生徒もいたりする。したがって、言語活動における形態を工夫し、生徒が英語を楽しみながら理解を深めていくことのできる授業を展開していきたい。そして英語でコミュニケーションを図ることの楽しさを感じながら、誰とでも積極的に意思疎通を図ろうとする態度を育てていきたい。

○ 指導観

Warm up 活動において、3 ヒントクイズを行うことでクラスや授業の雰囲気良くし、ALT が与えるヒント文に三単現の s を用いることで前時の学習内容を思い出させたい。次に、文法導入では、Warm up で用いた文章を疑問文にするためにはどのように文を組み立てればよいのかということを、何度も音声で聞かせたり、言わせたりして最終的には、文字を見せて気づかせていく。口頭練習をしっかりと行わせ、does を用いた疑問文を何度も言う活動を行うことによって does 疑問文の作り方およびその答え方についての定着を図っていききたい。

言語活動では、インフォメーションギャップの形をとり、積極的に質問したり答えたりすることで自分にはない情報（キャラクターの秘密）を得るようにする。生徒たちに身近なキャラクターを扱うことによって、学習活動に対する意欲の向上につながると思われる。また、これらの活動を通して、友達と英語で伝え合うことの楽しさも味わわせるようにしたい。

○ 研究主題との関連

本校の本年度学習指導研究主題：

『一人ひとりが学ぶ喜びを実感できる授業実践』 ～「思考力」「判断力」「表現力」の向上を目指して～

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">○ 「やる気」を引き出す授業の実践○ ICT 機器を有効活用した授業展開の研究○ 協働学習を取り入れた授業形態の工夫 |
|--|

- ・ 日常の学習活動で身に付けた基礎的・基本的な知識や技能を、自らが活用し、自分の考えや思いを積極的に相手に伝えようとする態度を育てる。
- ・ 積極的に仲間と関わり、ともに学んでいこうとする態度を育てる。
- ・ IWB や iPad、PC を有効活用し、生徒が「分かった」「できた」を実感できるようにする。
- ・ 学ぶ楽しみや喜びを実感し、自信を持って自らを表現しようとする姿勢を育てる。（授業における工夫）
 - すべての生徒が安心して学習できる環境づくり
 - 恥ずかしがらず大きな声で発音できる雰囲気づくり
 - ペア・グループ活動前の分かりやすい指示、視覚的な支援
 - 授業のユニバーサルデザイン化

6 本時案（第二次第1時）

（1）本時の目標

- 三人称単数現在形の疑問文の用法を理解することができる。 【言語や文化についての知識・理解】
- does を用いて積極的に情報を発信したり、聞いた情報を理解したりすることができる。

【外国語表現の能力】

（2）本時の展開

学習活動	○教師の指導・支援	◎学習評価
1. あいさつ・Warm up 活動をする。	○ クラスルームイングリッシュを多く用いることで、英語学習の雰囲気を作る。 ○ 「Hello, Goodbye」を歌う。 ○ 三単現の肯定文を使ったクイズをし、動詞に s がつくことを思い出させる。	
Goal: 自分や相手以外の人ができることをたずねたり答えたりできるようにしよう。		
2. 導入 （1）does を用いた疑問文や応答の仕方を知る。 （2）does を用いた疑問文や応答の仕方を口頭練習する。 T: Does he have babies? S: Yes, he does. など （3）本時の表現を文字にする。	○ JTE と ALT の会話を聞くことで、does に気づかせる。 ○ 興味や関心を持って活動に取り組むことができるように、題材を工夫する。 ○ 写真に合う対話の口頭練習を繰り返すことで、新出文型を定着させる。 ○ 導入(1)(2)でインプットさせた内容をワークシートにまとめる。（ワークシート①）	
3. 展開 インタビュービンゴゲームを行う。 S1: Does he speak Chinese? S2: Yes, he does. / No, he doesn't. など	○ ALT と JTE がデモンストレーションを行うことで全員が活動に取り組みやすいようにする。 ○ ALT、JTE も活動に加わり、英語でのコミュニケーションが苦手な生徒とペアになったり、生徒同士の会話を支援したりすることで、全員が参加できるようにする。（ワークシート②）	◎ does を用いて積極的に情報を発信したり、聞いた情報を理解したりすることができるか。〈観察、発言の内容〉【外国語表現の能力】
4. まとめ 本時のまとめをする。	○ ペアで音声による定着をしっかりとさせ、ALT への質問文を書くという自己表現につなげられるようにする。（ワークシート③） ○ 机間支援による個に応じた支援を行い、学習内容の理解を促す。	◎ 三人称単数現在形の疑問文の用法を正確に理解することができるか。〈ワークシート、観察、自己評価シート〉【言語や文化についての知識・理解】